

西日本における高卒者の就職に伴う圏域別移動状況

○2018(平成30)年3月卒業者

		就職先						計
		圏域外				圏域内		
		首都圏	中部地方	近畿地方	その他	圏域外計	地元	
高校所在地	中国地方	419人	189人	664人	1,204人	2,476人	11,130人	13,606人
	四国地方	256人	165人	446人	599人	1,466人	5,090人	6,556人
	九州・沖縄地方	3,010人	1,768人	1,318人	4,268人	10,364人	19,279人	29,643人
	計	3,685人	2,122人	2,428人	6,071人	14,306人	35,499人	49,805人
	割合※1	7.4%	4.3%	4.9%	12.2%	28.7%	71.3%	100%

(※1)高卒就職者49,805人に占める割合

○1971(昭和46)年3月卒業者

		就職先						計
		圏域外				圏域内		
		首都圏	中部地方	近畿地方	その他	圏域外計	地元	
高校所在地	中国地方	3,385人	1,379人	11,574人	3,786人	20,124人	37,786人	57,910人
	四国地方	2,302人	1,238人	8,692人	1,628人	13,860人	18,216人	32,076人
	九州・沖縄地方	23,523人	9,461人	23,321人	9,051人	65,356人	61,314人	126,670人
	計	29,210人	12,078人	43,587人	14,465人	99,340人	117,316人	216,656人
	割合※2	13.5%	5.6%	20.1%	6.7%	45.9%	54.1%	100%

(※2)高卒就職者216,656人に占める割合

(出典)学校基本調査(文部科学省)

(注釈)西日本とは、中国地方、四国地方及び九州・沖縄地方のこと。

○2018年における西日本の高卒者の圏域別就職人数の割合(上表、点線の丸)は、1971年に比べ、【圏域外その他】、【地元】で増加している一方、【首都圏】、【中部地方】、【近畿地方】では減少しており、特に【近畿地方】は減少率が大きくなっている。

<首都圏>1971年:13.5% → 2018年:7.4%(−6.1ポイント)

<中部地方>1971年:5.6% → 2018年:4.3%(−1.3ポイント)

<近畿地方>1971年:20.1% → 2018年:4.9%(−15.2ポイント)

<圏域外その他>1971年:6.7% → 2018年:12.2%(+5.5ポイント)

<地元>1971年:54.1% → 2018年:71.3%(+17.2ポイント)